

公益財団法人 旭硝子財団

2024年

「若い世代のための地球環境問題ワークショップ等」

応募要項

1. 「若い世代のための地球環境問題ワークショップ等」の目的

旭硝子財団は、1992年に地球環境国際賞として「ブループラネット賞」を創設し、地球環境問題の解決に向けて大きな貢献をされた個人や組織を顕彰してきました。また、環境問題の有識者に対して『地球環境問題と人類の存続に関するアンケート』調査を毎年実施し、その結果を公表しております。

ブループラネット賞の受賞業績をテーマとした若い世代の探求学習活動を奨励するために、旭硝子財団は、説明、議論、サポートを行う人員を派遣し、双方向コミュニケーション「若い世代のための地球環境問題ワークショップ等」の実施を支援します。このワークショップ等の実施によって、探求学習グループの調査、研究、学習の範囲を拡大し若い世代の地球環境問題への理解を深めることを目的とします。

2. 「若い世代のための地球環境問題ワークショップ等」の様式

「若い世代のための地球環境問題ワークショップ等」の開催には次のような形式が考えられます。（ワークショップ等とは、講座、セミナー、ワークショップ等を想定しています。）

- ・ 応募者からの依頼に基づき、ワークショップ等へ旭硝子財団が講師や専門家を派遣します。
ワークショップ等では、地球環境問題の有識者が講演を行い参加者と議論します。探求学習活動としての調査や研究を実施する場合は、活動の期間中あるいは終了時に、応募者が主催する座学でのワークショップや発表会等でその経過や結果を旭硝子財団が派遣（対面・リモート）する講師や専門家と共有し、講師や専門家が助言や講評を行い双方向のコミュニケーションを実施します。
- ・ 応募者が主催するワークショップ等で、旭硝子財団からブループラネット賞受賞者の業績を紹介します。
参加者が探求学習活動としてブループラネット賞受賞者の業績に関連する調査や自由研究を行い、終了時に報告書等を作成する場合は、その内容に応じて関連する最近のブループラネット賞受賞者からのコメントをもらえる場合もあります。
- ・ ワorkshop等とは、年度を超えて実施することも可能ですが、3年を上限とします。
- ・ 選考にあたり応募内容について旭硝子財団から問い合わせさせていただく場合があります。
- ・ 具体的な進め方につきましては、採用決定後に別途打ち合わせで決めさせていただきます。

3. 応募要件

1. 日本国内の高等学校、高等専門学校、大学の学校等、学校等に付属する団体、学校等が主催する会合、および学校等の生徒、学生が参加する学会等の学校外のグループに所属する者。また、上記対象に付随する場合は、小中学生や一般（生徒・学生以外）もワークショップ等に参加することができます。
2. 機関承認：学校等の団体の場合、原則として当該機関の責任者から応募について承認を得てください。

4. 地球環境問題ワークショップ等の企画対象分野

地球環境問題ワークショップ等のテーマについては、過去のブループラネット賞受賞業績（気候変動、生態系、生物多様性、人口、資源・エネルギー、地球大気、環境経済、環境教育など）に関連するテーマを推奨します。

5. 採択数

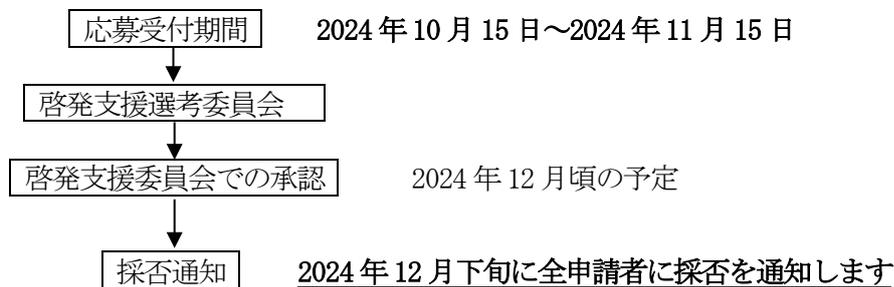
毎年数件程度の予定です。

6. 応募方法

応募は当財団のウェブサイトから以下の手順にて行ってください。

1. **申請書**（学校等の団体の場合、機関長の捺印を要します）
応募書類は、当財団ウェブサイトからダウンロードできます。ワード形式で記入後、PDFに変換の上、eメールに添付して応募してください。
2. **応募受付期間** 2024年10月15日～2024年11月15日
3. **応募方法** 上記の期間中、下記の当財団ウェブサイトに申請方法の詳細が記載されています。
<https://af-info.or.jp/blueplanet/news/workshop2401.html>
申請書に記入後、PDFに変換の上、eメールに添付して post@af-info.or.jp までお送りください。
申請書は当財団において管理し、「若い世代のための環境問題ワークショップ等」関連の目的以外には使用いたしません。

7. 選考日程と採否通知



※個別のご照会には回答いたしかねますので、ご了承ください。

8. 選考のポイント

- ワークショップ等の開催趣旨。
- ワークショップ等のプログラムを通して参加者が地球環境問題の解決に向けて自主的に取り組むことを促す魅力的な内容になっているか。
- 目的を達成するためにワークショップ等の様式が適切か。
- ワークショップ等の参加者以外の人も興味や関心を持てるような内容になっているか。

9. ワークショップ等の内容の掲載について

ワークショップ等の様子や内容については、事前合意の上当財団ウェブサイトや外部メディアに掲載する場合があります。

10. 個人情報の取り扱い

当財団に提出いただいた個人情報は、本事業以外には使用いたしません。

11. ご参考

<啓発支援選考委員>

江守 正多*	東京大学未来ビジョン研究センター教授
橋本 禅	東京大学大学院農学生命科学研究科教授
町田 智子	公益財団法人文字・活字文化推進機構専務理事

*啓発支援選考委員長

旭硝子財団について

目的 旭硝子財団は、次の時代を拓くための研究等への助成、次の時代を担う優れた人材への奨学助成、地球環境問題の解決に大きく貢献した個人や団体に対する顕彰などを通じて、人類が真の豊かさを享受できる社会および文明の創造に寄与します。

沿革 旭硝子財団は、旭硝子株式会社（現 AGC株式会社）創業 25 周年を記念して、その翌年の 1933 年（昭和 8 年）に旭化学工業奨励会として設立されました。発足以来、戦後の混乱期を除いて、応用化学分野の研究に対する助成を継続しました。その後、1990 年に新しい時代の要請に応える財団を目指して事業内容を全面的に見直し、助成対象分野の拡大と顕彰事業の新設を行うとともに財団の名称を旭硝子財団に改めました。2018 年（平成 30 年）に公益財団法人 旭硝子奨学会を合併し、現在は研究助成事業、奨学事業、顕彰事業、啓発支援事業を 4 本の柱とする活動を行っています。

研究助成事業 次世代社会の基盤を構築するような化学・生命分野、物理・情報分野の独創的な研究、および社会の重要課題の解決に指針を与えるような建築・都市分野、人文・社会科学分野、環境フィールド研究分野の研究を助成します。国内の大学だけでなく、チュラロンコン大学（タイ）、キングモンクット工科大学トンプリ校（同）、バンドン工科大学（インドネシア）およびハノイ工科大学（ベトナム）に対しても、研究助成を行っています。

奨学事業 奨学プログラムは、1957 年（昭和 32 年）に設立された公益財団法人 旭硝子奨学会の事業として始まりました。以来、経済的な援助を必要とする優れた日本人学生に対して奨学金を給付し、1990 年からは外国人留学生にも対象を拡げています。2018 年より、奨学事業は旭硝子財団に移管されました。2022 年度には、外国人留学生の採用対象国を従来のタイ、インドネシア、中国、韓国にベトナムが加わりました。旭硝子財団の奨学事業として、持続可能な社会および文明の創造に寄与する人材の育成に取り組んでいきます。

顕彰事業 「ブループラネット賞」は、地球環境問題の解決に向けて大きく貢献した個人や組織に対して感謝を捧げると共に、多くの人々がそれぞれの立場で環境問題の解決に参加されることを願って創設されました。国内外の推薦人に候補者の推薦を依頼し、その中から毎年原則として 2 件を選定します。受賞者にはそれぞれ賞状・トロフィーならびに賞金 50 万米ドルが贈呈されます。

啓発支援事業 地球の未来を担う若い世代を含む人々が地球環境問題をより深く理解することを助け、この問題の解決に向けて具体的に取り組むことを支援するために、専門家による講演、学校での自由研究のサポートなどの活動を行っています。

公益財団法人 旭硝子財団

<https://www.af-info.or.jp>

〒102-0081 東京都千代田区四番町 5-3 サイエンスプラザ 2F
TEL (03) 5275-0620 FAX (03) 5275-0871
E-mail: post@af-info.or.jp